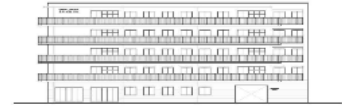


# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム (2016年改訂) | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)すなわいの家京命 特別養護老人ホーム		階数	地上5F
建設地	名古屋市千種区京命一丁目301番、他7筆		構造	RC造
用途地域	二種住居、準防火地域		平均居住人員	96人
地域区分	6地域		年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月	予定	評価の実施日	2023年11月20日
敷地面積	1,483 m <sup>2</sup>		作成者	
建築面積	802 m <sup>2</sup>		確認日	2023年11月20日
延床面積	3,451 m <sup>2</sup>		確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.1

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物全体を外断熱工法とすることにより気密性を高め、外部の温度変化の影響をほとんど受けることが無く、一年を通して快適な住環境を保つ。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
大きな開口を設け、明るく快適な住空間を提供。	各居室はゆとりある広さ、天井高を確保。	多くの植栽を設け良好な景観を形成。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外皮性能を高め熱負荷の抑制を図り、高効率な空調設備、Low-eガラスの採用など省エネ効果を高める。	自動水栓、節水型便器による節水への取り組み。	最低限の駐車スペースの確保。廃棄物回収や管理方法を徹底し悪臭等、周辺住民への悪影響及ぼさないものとする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 重点項目スコア・結果シート

(仮称)すないの家京命 特別養護老人ホーム

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
<b>1. 温暖化対策</b>				<b>3.1</b>
LR1	エネルギー	3.3	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.3	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>				<b>2.6</b>
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
<b>3. 循環型社会</b>				<b>2.7</b>
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

## 結果

<b>1. 温暖化対策</b>	評価点 = 3.1
<b>2. 自然共生</b>	評価点 = 2.6
<b>3. 循環型社会</b>	評価点 = 2.7

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。